

1. 財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)	比較増減
資産の部				
現金及び預貯金		24,290	45,170	20,879
現金		0	0	0
預貯金		24,290	45,169	20,879
コールローン		30,000	10,000	△ 20,000
有価証券		189,056	204,702	15,645
国債		103,327	120,542	17,215
地方債		40,568	42,573	2,005
社債		44,059	41,031	△ 3,028
株式		601	553	△ 47
外国証券		499	—	△ 499
有形固定資産		745	475	△ 270
建物		91	75	△ 16
建設仮勘定		4	38	34
その他の有形固定資産		649	361	△ 288
無形固定資産		21,495	22,457	962
ソフトウェア		19,840	18,271	△ 1,569
ソフトウェア仮勘定		1,643	4,175	2,531
その他の無形固定資産		10	10	△ 0
その他資産		23,017	21,751	△ 1,265
未収保険料		1,224	1,278	53
再保険貸		243	123	△ 120
外国再保険貸		38	251	213
未収金		13,211	11,802	△ 1,409
未収収益		106	133	27
預託金		700	955	255
仮払金		7,492	7,206	△ 285
繰延税金資産		16,297	17,115	818
資産の部合計		304,902	321,672	16,770

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)	比較増減
負債の部				
保険契約準備金		244,255	260,667	16,412
支払備金		51,700	57,381	5,681
責任準備金		192,554	203,285	10,730
その他負債		17,152	19,386	2,234
再保険借		1,259	1,698	438
外国再保険借		72	97	25
未払法人税等		425	838	412
預り金		88	102	14
未払金		6,227	6,333	105
仮受金		9,079	10,315	1,236
退職給付引当金		2,579	2,633	54
賞与引当金		1,048	1,282	234
役員賞与引当金		11	—	△ 11
特別法上の準備金		399	441	41
価格変動準備金		399	441	41
負債の部合計		265,446	284,411	18,965
純資産の部				
株主資本				
資本金		20,000	20,000	—
資本剰余金		3,389	3,389	—
資本準備金		3,389	3,389	—
利益剰余金		16,242	15,310	△ 932
利益準備金		6,753	8,071	1,317
その他利益剰余金		9,489	7,239	△ 2,249
繰越利益剰余金		9,489	7,239	△ 2,249
株主資本合計		39,632	38,700	△ 932
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		△ 176	△ 1,439	△ 1,262
評価・換算差額等合計		△ 176	△ 1,439	△ 1,262
純資産の部合計		39,456	37,261	△ 2,194
負債及び純資産の部合計		304,902	321,672	16,770

損益計算書

(単位：百万円)

年 度 科 目	前事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	比較増減
経常収益	152,088	168,894	16,805
保険引受収益	150,670	167,259	16,589
正味収入保険料	150,540	167,114	16,573
積立保険料等運用益	129	145	15
資産運用収益	1,366	1,569	202
利息及び配当金収入	1,483	1,714	231
有価証券売却益	12	—	△ 12
積立保険料等運用益振替	△ 129	△ 145	△ 15
その他経常収益	52	65	13
経常費用	145,610	161,694	16,084
保険引受費用	107,697	121,417	13,720
正味支払保険金	81,339	91,594	10,254
損害調査費	10,421	11,122	700
諸手数料及び集金費	2,096	2,288	191
支払備金繰入額	4,704	5,681	976
責任準備金繰入額	9,133	10,730	1,597
その他保険引受費用	0	1	0
資産運用費用	—	—	—
営業費及び一般管理費	37,902	40,270	2,368
その他経常費用	9	6	△ 3
その他の経常費用	9	6	△ 3
経常利益	6,478	7,199	721
特別利益	—	—	—
特別損失	56	42	△ 14
固定資産処分損	18	0	△ 17
特別法上の準備金繰入額	38	41	3
価格変動準備金繰入額	38	41	3
税引前当期純利益	6,421	7,157	735
法人税及び住民税	1,629	1,801	172
法人税等調整額	201	△ 301	△ 503
法人税等合計	1,831	1,500	△ 331
当期純利益	4,590	5,657	1,067

2. その他情報

2024年度 損益状況の対前年度比較

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料) (元受正味保険料)		154,718 (154,718)	173,896 (173,896)	19,178 (19,178)	12.4% (12.4)
保 険 引 受 収 益 (うち正味収入保険料)		150,670 (150,540)	167,259 (167,114)	16,589 (16,573)	11.0 (11.0)
保 険 引 受 費 用 (うち正味支払保険金) (うち損害調査費) (うち諸手数料及び集金費)		107,697 (81,339) (10,421) (2,096)	121,417 (91,594) (11,122) (2,288)	13,720 (10,254) (700) (191)	12.7 (12.6) (6.7) (9.1)
資 産 運 用 収 益 (うち利息及び配当金収入) (うち有価証券売却益)		1,366 (1,483) (12)	1,569 (1,714) (-)	202 (231) (△12)	14.8 (15.6) (△100.0)
資 産 運 用 費 用		-	-	-	-
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費 (保険引受に係る営業費及び一般管理費)		37,902 (37,825)	40,270 (40,178)	2,368 (2,353)	6.2 (6.2)
そ の 他 経 常 損 益		42	59	17	41.0
経 常 利 益 (保険引受利益)		6,478 (5,146)	7,199 (5,676)	721 (529)	11.1 (10.3)
特 別 利 益		-	-	-	-
特 別 損 失		56	42	△14	△25.6
特 別 損 益		△56	△42	14	-
税 引 前 当 期 純 利 益		6,421	7,157	735	11.5
法 人 税 及 び 住 民 税		1,629	1,801	172	10.6
法 人 税 等 調 整 額		201	△301	△503	△249.3
法 人 税 等 合 計		1,831	1,500	△331	△18.1
当 期 純 利 益		4,590	5,657	1,067	23.3
諸比率					
正味損害率		61.0%	61.5%		
正味事業費率		26.5%	25.4%		
修正経常利益		6,400	5,536	△864	△13.5
E. I. 損害率		67.9%	69.7%		

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※

※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。

5. E. I. 損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100

なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

年度 種目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)			当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	8,516	5.5%	0.0%	12,274	7.1%	44.1%
海上	—	—	—	—	—	—
傷害	9,821	6.3%	3.5%	9,893	5.7%	0.7%
自動車	136,380	88.1%	6.1%	151,727	87.3%	11.3%
自動車損害賠償責任	—	—	—	—	—	—
合計	154,718	100.0%	5.6%	173,896	100.0%	12.4%

正味収入保険料

(単位：百万円)

年度 種目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)			当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	3,757	2.5%	△ 18.2%	5,513	3.3%	46.7%
海上	—	—	△ 100.0%	—	—	—
傷害	9,648	6.4%	0.3%	9,628	5.8%	△ 0.2%
自動車	135,861	90.2%	6.0%	150,857	90.3%	11.0%
自動車損害賠償責任	1,273	0.8%	△ 5.9%	1,115	0.7%	△ 12.5%
合計	150,540	100.0%	4.7%	167,114	100.0%	11.0%

正味支払保険金

(単位：百万円)

年度 種目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)			当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		
	金額	増減率	正味損害率	金額	増減率	正味損害率
火災	1,624	28.7%	51.3%	2,060	26.8%	43.7%
海上	△ 19	—	—	△ 6	—	—
傷害	3,627	△ 19.7%	42.1%	3,815	5.2%	43.9%
自動車	74,679	12.6%	62.1%	84,226	12.8%	62.7%
自動車損害賠償責任	1,428	8.4%	112.1%	1,498	4.9%	134.4%
合計	81,339	10.8%	61.0%	91,594	12.6%	61.5%

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	77,608	79,414
資本金又は基金等	34,854	38,700
価格変動準備金	399	441
危険準備金	163	170
異常危険準備金	40,974	39,311
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	△ 244	△ 2,024
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	1,460	2,815
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	21,142	23,211
一般保険リスク (R ₁)	17,268	18,852
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	167	175
資産運用リスク (R ₄)	2,537	2,896
経営管理リスク (R ₅)	463	510
巨大災害リスク (R ₆)	3,200	3,600
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	734.1 %	684.2 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険（一般保険リスク）
（第三分野保険の保険リスク）：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
 - ②予定利率上の危険（予定利率リスク）：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険（資産運用リスク）：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険（経営管理リスク）：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険（巨大災害リスク）：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。